

1.3. 市受託事業

(1) 気仙沼西地区高齢者相談室運営事業

【概要】気仙沼西地区の災害公営住宅や防災集団移転団地の整備に対応し、高齢者等の生活再建や地域社会への復帰、自立生活を支援するため巡回訪問し、安否確認や見守り、声掛け総合相談等を実施しました。

【実績】

| 事業内容等 | 区 分 | 件数等 | 備 考 |
|-----------------|-----------------------|-------|------------------|
| 災害公営住宅 巡回訪問 | 住宅数(延べ) | 4 | カ所 訪問した災害公営住宅団地数 |
| | 戸数(延べ) | 1,684 | 件 訪問した戸数 |
| | (内不在、延べ) | 451 | 件 訪問したが不在(状況確認) |
| 防災集団移転先 巡回訪問 | 住宅団地数(延べ) | 2 | カ所 訪問した防災集団移転先数 |
| | 戸数(延べ) | 23 | 件 訪問した戸数 |
| | (内不在、延べ) | 7 | 件 訪問したが不在(状況確認) |
| 応急仮設住宅 巡回訪問 | 住宅団地数(延べ) | 0 | カ所 訪問した応急仮設住宅団地数 |
| | 戸数(延べ) | 0 | 件 訪問した戸数 |
| | (内不在、延べ) | 0 | 件 訪問したが不在(状況確認) |
| 相談件数 | 住宅関係 | 0 | 件 住宅等の問題 |
| | 健康相談 | 2 | 件 身体的健康の問題 |
| | 精神的問題 | 0 | 件 PTSDなど精神的問題 |
| | 介護関係 | 0 | 件 介護保険等相談 |
| | 家族関係 | 0 | 件 DVなど問題 |
| | 交通等 | 0 | 件 通院や買い物等の問題 |
| | 経済関係 | 1 | 件 経済的な問題 |
| | 交流 | 0 | 件 孤立や交流等の問題 |
| | 傾聴 | 7 | 件 |
| | その他 | 1 | 件 上記以外の問題など |
| | 合計 | 11 | 件 |
| お茶会等イベン ト活動 | 交流イベント(他団体共催含む) | 86 | 2カ所 |
| | 参加者数(延べ) | 891 | 人 |
| 地域支援活動 | 自治会等 | 0 | 回/1カ所 |
| | 参加者数(延べ) | 0 | 人 |
| 広報公聴活動 | | 768 | 部 |
| 各種連絡調整会議 | 行政・サポセン・ボラセン・NPO/NGO等 | 25 | 回 |
| 職員研修状況 | 内部研修 | 0 | 回 |
| | 外部研修 | 1 | 回 |

【成果】コロナ感染拡大防止を基本に、市高齢介護課との連携の下、要支援世帯を中心に見守り・声掛けを含む訪問活動も計画的に取り組むことができました。市内での感染拡大により訪問を中止し電話で様子伺いの対応とした月もありましたが、訪問時にはマスクを着用アルコールを持参し、一部屋訪問が終わる毎に消毒する事を基本にインターホンでの対応を心掛けました。そのほか、緊急時においては、専門機関とも連携や情報共有を適切に行い、入居者への援助活動の幅を広げることができました。

【課題】高齢化やサロン活動の中止が続いているなか、自宅から出ず、また運動習慣が途切れた生活が続いたことで体調を崩したり、筋力低下により転倒した方もおります。訪問時に会えない方や健康面で心配のある方等との関わり方、精神面で心配のある方が住宅内や地域から孤立しないよう、今後も専門機関や民生委員・児童委員等と一層の連携が必要です。

【今後の取組】家賃負担の要因から比較的若い世帯の退去により、整備当初と比較すると高齢化が進んでいることから、引き続き支援が必要な高齢者世帯や日中独居となる方への巡回訪問や丁寧な相談業務による状況把握に努めます。また、これまでと同様に専門機関や他の支援者と協力・連携し、入居及び自立再建された方の安心・安全な日常の確保に努めます。

【決算】 事業活動収入 11,057,922円 事業活動支出 11,057,922円
当期資金収支差額 31円

(2) 気仙沼市鹿折・唐桑地域包括支援センター

【概要】唐桑地域及び鹿折地区の高齢者に関する、介護や健康、認知症、高齢者虐待に関する相談に対し、訪問や面談、電話で対応し、必要な場合は関係機関と連携し解決に向けた支援を行いました。

【実績】

| 月 | 実数 | 対応方法 | | | 対応理由区分 | | | | | | | |
|-----|------|------|-----|------|--------|------|-----|-----|--------|------|------|-----|
| | | 訪問 | 面接 | 電話 | 認知 | 権利擁護 | 介護 | 生活 | ケアマネ支援 | 予防総合 | 契約のみ | その他 |
| 4 | 84 | 52 | 35 | 86 | 3 | 8 | 53 | 22 | 6 | 64 | 7 | 10 |
| 5 | 92 | 60 | 20 | 90 | 16 | 2 | 44 | 26 | 10 | 48 | 2 | 22 |
| 6 | 96 | 61 | 38 | 161 | 53 | 0 | 72 | 8 | 10 | 69 | 2 | 46 |
| 7 | 81 | 56 | 20 | 118 | 14 | 0 | 67 | 8 | 4 | 70 | 8 | 23 |
| 8 | 82 | 51 | 38 | 127 | 12 | 53 | 43 | 16 | 5 | 47 | 12 | 28 |
| 9 | 88 | 47 | 34 | 110 | 17 | 4 | 65 | 31 | 3 | 47 | 9 | 15 |
| 10 | 84 | 48 | 23 | 136 | 5 | 3 | 86 | 15 | 30 | 45 | 9 | 14 |
| 11 | 76 | 45 | 30 | 103 | 16 | 18 | 51 | 9 | 2 | 62 | 1 | 19 |
| 12 | 72 | 49 | 21 | 95 | 11 | 12 | 57 | 11 | 11 | 42 | 2 | 19 |
| 1 | 71 | 45 | 17 | 92 | 12 | 2 | 58 | 3 | 12 | 44 | 4 | 19 |
| 2 | 76 | 44 | 26 | 96 | 7 | 14 | 53 | 2 | 9 | 60 | 5 | 16 |
| 3 | 80 | 48 | 26 | 96 | 12 | 21 | 42 | 6 | 14 | 39 | 13 | 23 |
| 合計 | 982 | 606 | 328 | 1310 | 178 | 137 | 691 | 157 | 116 | 637 | 74 | 254 |
| 前年度 | 1055 | 633 | 384 | 1362 | 160 | 113 | 599 | 204 | 291 | 659 | 48 | 305 |

【研修・会議等参加状況】

| 月 日 | 主な会議・研修会等 | 開催場所 |
|-----------|----------------------|------------|
| 令和3年4月27日 | ケアマネジャー研修会打合せ会 | 気仙沼市役所 |
| 4月27日 | 認知症初期集中支援チーム員会議 | 気仙沼市役所 |
| 5月～6月の8日間 | 主任介護支援専門員更新研修（リモート） | 事業所内 |
| 5月25日 | 認知症地域支援推進員会議 | 気仙沼市役所 |
| 5月28日 | 唐桑地域多職種連絡会 | 燎さん館 |
| 6月11日 | 警察との情報共有会議 | 気仙沼市役所 |
| 7月13日 | 気仙沼市地域包括支援センター運営協議会 | 気仙沼市役所 |
| 7月13日 | 権利擁護研修会（リモート） | 事業所内 |
| 7月20日 | 気仙沼市地域包括ケア推進協議会 | 気仙沼市役所 |
| 10月11日 | 気仙沼市認知症初期集中支援チーム員会議 | 気仙沼市中央公民館 |
| 10月26日 | 認知症地域支援研修（リモート） | 事業所内 |
| 11月18日 | 気仙沼市地域包括ケア推進協議会 | 気仙沼市役所 |
| 11月30日 | 気仙沼市地域包括ケア推進協議会 | 気仙沼市役所 |
| 12月22日 | 「精神疾患を学ぶ」研修会 | 気仙沼保健福祉事務所 |
| 12月23日 | 気仙沼市認知症初期集中支援チーム員会議 | 気仙沼市役所 |
| 1月18日 | 介護支援専門員研修会（リモート） | 事業所内 |
| 1月19日 | 令和3年度地域包括課題別研修（リモート） | 事業所内 |
| 3月22日 | 気仙沼市地域包括支援センター運営協議会 | 気仙沼市役所 |

【成果】感染症予防対策を取りながら、相談や訪問での支援を行いました。高齢者虐待や認知症で連携の必要な高齢者について、警察・唐桑総合支所保健福祉課と「唐桑エリア地域ケア会議」を開催し情報共有に努めました。また地域支え合い推進員と協力して、鹿折地区と唐桑地区で地域づくりミーティングを開催し、関係者間の情報共有と課題の検討を行いました。鹿折地区と唐桑地区で「認知症カフェ」を開催し地域で支える基盤づくりに取り組みました。

【課題】高齢者と何らかの障害を持つ世帯への支援が増えています。継続して「地域ケア会議」を開催し、関係機関で連携して支援できる体制を構築していく必要があります。また、感染症予防対策を取りながら、事業を開催していく必要があります。

【今後の取組】令和4年度は気仙沼市の重点的に行う業務に沿い、①介護予防の推進、②権利擁護に関する取り組み③総合相談支援連携機能強化、④認知症施策の推進について、関係機関と連携して取り組んでいきます。

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 【決算】 事業活動収入 | 30,017,352円 | 事業活動支出 | 27,382,930円 |
| | | その他の活動による支出 | 2,372,116円 |
| | | (運用基金へ繰出 | 1,000,000円) |
| | | 当期資金収支差額 | 262,306円 |
| | | (市へ返還額 | 389,174円) |

(3) 気仙沼市本吉地域包括支援センター

【概要】本吉地域の高齢者の実態把握に努め、保健・医療・福祉関係機関と連携し、相談に関わりました。新型コロナウイルス感染症予防をしながら訪問し、感染予防やフレイル予防の注意喚起をしました。認知症や虐待相談から地域ケア会議を開催し、関係者間で連携しました。

【実績】

| 月 | 実数 | 対応方法 | | | 対応理由区分 | | | | | | | |
|-----|------|------|-----|------|--------|------|-----|-----|--------|------|------|-----|
| | | 訪問 | 面接 | 電話 | 認知 | 権利擁護 | 介護 | 生活 | ケアマネ支援 | 予防支援 | 契約のみ | その他 |
| 4 | 85 | 64 | 16 | 58 | 10 | 0 | 35 | 14 | 13 | 48 | 1 | 17 |
| 5 | 93 | 57 | 33 | 66 | 15 | 5 | 37 | 20 | 8 | 49 | 0 | 22 |
| 6 | 103 | 84 | 20 | 105 | 15 | 3 | 40 | 53 | 12 | 63 | 1 | 22 |
| 7 | 114 | 77 | 27 | 85 | 21 | 3 | 53 | 26 | 15 | 47 | 0 | 24 |
| 8 | 97 | 73 | 22 | 98 | 9 | 2 | 55 | 1 | 19 | 74 | 3 | 30 |
| 9 | 91 | 73 | 21 | 66 | 7 | 0 | 41 | 0 | 13 | 67 | 4 | 28 |
| 10 | 108 | 90 | 18 | 80 | 11 | 15 | 57 | 0 | 13 | 54 | 2 | 36 |
| 11 | 107 | 77 | 42 | 115 | 16 | 4 | 106 | 0 | 7 | 61 | 6 | 34 |
| 12 | 99 | 80 | 35 | 119 | 36 | 3 | 61 | 8 | 12 | 85 | 1 | 28 |
| 1 | 84 | 63 | 21 | 116 | 12 | 0 | 62 | 4 | 9 | 92 | 4 | 17 |
| 2 | 90 | 59 | 18 | 103 | 6 | 0 | 82 | 19 | 11 | 51 | 2 | 9 |
| 3 | 100 | 60 | 25 | 121 | 12 | 11 | 62 | 25 | 14 | 64 | 3 | 15 |
| 合計 | 1171 | 857 | 298 | 1132 | 170 | 46 | 691 | 170 | 146 | 755 | 27 | 282 |
| 前年度 | 1234 | 849 | 352 | 1240 | 315 | 89 | 622 | 292 | 178 | 504 | 41 | 400 |

【研修・会議等参加状況】

| 月 日 | 主な会議・研修会等 | 開催場所 |
|-------------|--------------------------|---------------|
| 令和3年4月20日 | 個人防護具の着脱に関する研修会 | 中央公民館 |
| 4月30日 | 新型コロナウイルスワクチン接種説明会 | ワンテン庁舎 |
| 5月12日～6月7日 | 主任ケアマネ更新研修 | ズーム研修 |
| 6月11日・1月21日 | 気仙沼警察署と地域包括支援センターとの情報交換会 | ワンテン庁舎 |
| 7月13日・3月2日 | 介護保険運営委員会 | ワンテン庁舎 |
| 7月20日 | ネットワーク推進員事務局合同会議 | ワンテン庁舎 |
| 8月6日 | ケアマネ協会気仙沼支部ケアマネミーティング | ズーム研修 |
| 8月18日 | アルコール関連問題支援者向け研修会 | 宮城県気仙沼保健福祉事務所 |
| 9月29日 | ケアマネ協会気仙沼支部リモート研修会 | ズーム研修 |
| 11月18日 | 地域包括ケア推進協議会高齢者健康維持増進部会 | ワンテン庁舎 |
| 11月18日 | 宮城県相談技法研修会 | ズーム研修 |
| 12月10日 | 対応困難者事例検討会 | 本吉公民館 |
| 令和4年3月28日 | けあビジョンホーム運営推進会議 | けあビジョンホーム |

【成果】世帯で課題のあるケースの地域ケア会議を開催し、関係者での情報共有や地域での見守りなど支援の方向性の確認ができました。コロナ禍で事業開催が難しい状況にありますが、感染予防と参加人数を制限し、認知症家族交流会と家族介護者教室を開催しました。

【課題】世帯での課題から虐待につながっているケースや心配されるケースが多くなってきています。関係機関との連携を密にし、情報の共有と課題整理をする必要があります。

【今後の取組】世帯の課題に向き合いながら地域で暮らせるよう、地域や関係機関と連携しケア会議などで情報共有を図ります。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、事業に取り組むとともに、地域支え合い推進員と連携しながら地域との関係づくりを進めます。

| | | | |
|------------|-------------|------------------------|-------------|
| 【決算】事業活動収入 | 27,430,586円 | 事業活動支出 | 24,178,875円 |
| 施設整備等収入 | 0円 | 施設整備等支出 | 0円 |
| | | その他の活動による支出 | 5,396,176円 |
| | | (うち運用基金への繰出4,000,000円) | |
| | | 当期資金収支差額 | △2,144,465円 |
| | | (市返還額 993,563円含む) | |

14. 団体事務

| 事業名 | 内容 |
|-------------------------------|---|
| <p>気仙沼市民生委員児童委員協議会</p> | <p>【概要】市民児協事務局として、団体会務に係る機関との連絡調整から各地区民児協及び委員への情報提供等を行いました。</p> <p>【会務等実績】</p> <p>監査会（5月）、役員会3回（4月、10月、1月）、正副会長会議2回（4月、6月）、地区民児協会長会議3回（4月、7月、9月）、総会（書面評決方式で実施に8月）</p> <p>【成果】新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、訪問活動自粛や研修等の規模縮小により、活動できない状況が昨年度から続いていましたが、全委員を対象とした研修会を実施し、地域を越えた顔の見える交流の場にもなりました。そのほか、民生委員活動への支援として民生委員活動Q&A集の改訂版を制作・配付しました。</p> <p>また、気仙沼市長に対して民生委員の活動環境整備に向けた要望書を提出したほか、要望内容に基づいて「令和4年一斉改選に向けた検討会」を設置し、行政と次期改選に向けて各種検討協議を進めました。</p> <p>【課題】訪問活動や研修機会が減少していますが、委員個人の活動の質確保に向けて、市と協働して取り組むことが必要となっています。</p> <p>【今後の取組】円滑な単位民児協運営が図れるよう、市担当部署と連携を密にして取り組みます。</p> |
| <p>本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会</p> | <p>【概要】本吉ブロック民児協（構成：気仙沼市民児協・南三陸町民児協）の事務局として、団体会務に係る外部機関との連絡調整をしました。</p> <p>【実績】気仙沼市民児協・南三陸町民児協会長会議 1回（4月）</p> <p>【成果】ブロック管内での民生委員制度周知への取り組みとして、5月の民生委員の日に合わせて三陸新報と河北新報へ広告掲載と広告折り込みを実施しました。相談支援の資質向上や諸制度理解に向けた研修会の開催について南三陸町民児協事務局と協議しましたが、コロナ禍により実施に至りませんでした。</p> <p>【課題】南三陸町民児協との広域的な社会課題の共有と課題解決に向けた情報共有の機会確保とスムーズな団体会務への取り組みが課題です。</p> <p>【今後の取組】南三陸町民児協と連携の下、役員会及び圏域での研修会等の開催に向け、南三陸町民児協事務局と連携しながら取り組みます。</p> |
| <p>気仙沼市共同募金委員会</p> | <p>【概要】共同募金委員会事務局として、住民への募金に関する理解や募金運動に関する支援、団体会務に係る外部機関との連絡調整等を行いました。</p> <p>【実績】 監査会1回（7月）、運営委員会2回（8月、3月{書面評決}）、正副会長会議1回（9月）、配分審査会1回（12月）</p> <p>【成果】街頭募金運動については当初計画していましたが、9月に緊急事態宣言が発出されたことや、感染者が市内でも複数人出ていたこと等もあり、正副会長による協議を重ねた結果、今年度の街頭募金運動は中止となりました。代替策として、街頭募金実施予定場所の商店や企業へ店舗内サービ</p> |

| | |
|---------------|--|
| | <p>スカウンター等への募金箱設置の協力をいただきました。</p> <p>【課題】コロナ禍において、効果的な募金運動展開や安定した事業運営が図られるよう、宮城県共募と連携を強化した運営支援が必要です。</p> <p>【今後の取組】運営委員並びに奉仕員を中心に、広く共同募金運動へ理解が得られるよう団体会務を支援します。</p> |
| 気仙沼市ボランティア連絡会 | <p>【概要】市内のボランティア団体をもって組織し、各団体の育成と連携・協力を図り、ボランティア活動の推進に寄与することを目的としており、気仙沼地区と唐桑地区の計12地区ボランティアクラブから構成されています。</p> <p>【実績】総会（書面評決）、監査会（1回）、役員会（3回）、他団体会議への出席等</p> <p>【成果】情報の共有や連携を図ることにより、活動の幅が広がり活動の質の向上に繋がっています。</p> <p>【課題】新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会等の開催が中止となり、情報交換やネットワークづくりに支障をきたしています。</p> <p>【今後の取組】感染症の拡大防止を考慮しつつ、地域のボランティア団体の円滑な連携や県内のボランティア団体との交流を図り、より充実したボランティア活動の推進に繋がるよう努めます。</p> |
| 気仙沼市老人クラブ連合会 | <p>【概要】老人クラブ活動の活性化を図り、市老人クラブ連合会事務の適正な運営に努めました。</p> <p>【実績】会議等（総会1回、定例理事会3回、監査会1回、専門部会1回、市高齢者事業運営委員会2回）</p> <p>【成果】福寿荘の閉館に伴い、市老連事務局移転による市老連所有の備品等の保管場所について、役員・社協・事務局と協議し設置場所を確保することができました。各事業については新型コロナウイルス感染拡大防止対策が十分にできないことから休止となりましたが、10月以降に行う大会・行事等には感染予防対策を徹底して参加することとなりました。</p> <p>【課題】今年度は2クラブが解散となり、会員の加入促進が課題となっています。会員の高齢化と後継者不足により、リーダーの育成が必要です。</p> <p>【今後の取組】リーダー研修会を開催し、単位クラブや事業の在り方、リーダーとしての役割の再確認と見直しを行ないながら、活動の充実に努めます。また、「新しい生活様式」を取り入れた研修会開催や実践活動の推進に努めます。</p> |
| 本吉町老人クラブ連合会 | <p>【概要】関係機関と連携し、自主的運営による全国三大運動（心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動）の推進と活性化を図りました。</p> <p>【実績】会議等（総会1回、監査会1回、単位クラブ会長会議2回、正副会長会議2回、女性部総会1回）</p> <p>【成果】新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業として計画をしていたものは、会長会議で検討し中止としました。</p> <p>会長会議にて運営の話し合いをし、安全に実施できるよう検討を行いました。</p> |

| | |
|-----------------------------|---|
| | <p>たが、計画どおりの実施することができませんでした。</p> <p>会長会議の際には、再度確認のため感染予防のチラシ等を配布し、集まりの場における注意喚起を行い、各クラブの活動状況についての情報交換を併せて行うことができました。</p> <p>唯一、宮城県老人クラブ大会へのみ参加することができ、永年の功績をたたえることができました。</p> <p>【課題】これまで同様に会員の高齢化による役員の後継問題から2クラブが解散になりました。会員の加入促進や今後の事業運営の見直しが必要です。</p> <p>【今後の取組】事業運営についての見直しや検討を行い、現状に合わせた事業を計画し、運営に努めていきます。</p> |
| <p>本吉地区遺族会</p> | <p>【概要】遺族会として友愛の精神で互いに助け合い、福祉の増進に努め、戦没者諸英霊の祭祀を厚くし、関係機関と連携強調することにより、後世にわたって平和の尊さを認識してもらえよう意識しながら事業を推進しました。</p> <p>【実績】会議等（総会1回、監査会1回、役員会1回）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会は書面にて対応。</p> <p>【成果】役員が一丸となって、役員や評議員の候補者の選出や会員減少の歯止めをかける取組みの検討を進めてきました。</p> <p>【課題】新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業実施も見合せることとなりました。</p> <p>【今後の取組】次回総会が改選期となることから役員が中心となり、役員の後継や会員減少を防ぐ呼び掛けをはじめ、戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和な世の中が今後も続くように会の取り組みを支援します。</p> |
| <p>気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会</p> | <p>【概要】本吉地域内の「連携・協働の場」プラットフォームとしての役割を発揮するため、本吉地域内の6法人が参加し、地域の様々な福祉課題の解決と地域福祉推進に資することを目的に取り組みを進めました。</p> <p>【実績】会議 連絡会議14回</p> <p>【成果】本吉地域内の介護・福祉に関わる法人などが連携し、事業実施を行うことで、法人間の連携や職員の福祉などに関する意識高揚に繋がった。</p> <p>【課題】コロナ禍でもあり、連携協議会として本来必要な地域貢献事業が出来かねている状況にあります。</p> <p>【今後の取組】各法人と連携し、地域の実情に即した地域貢献事業などを創設して地域共生社会の実現に向けた取組みを進める支援をしていきます。</p> |